

ふくしまの未来に向けたみんなのアクション

# THE FUKUSHIMA 2020 INFORMATION Vol.1

最新注目ニュース

2017.08.31 (木) 発行

[福島県主催：東京2020大会公認プログラム]

## 東京2020オリンピック・パラリンピック復興ふくしま推進会議設立！

福島県は、2020年東京オリンピック開幕の3年前にあたる平成29年7月24日(月)、県内のスポーツ、商工、観光、農林水産業、教育関係等の144団体の代表者を委員とする東京オリンピック・パラリンピックに向けた全県会議である「東京2020オリンピック・パラリンピック復興ふくしま推進会議」の設立を兼ねた第1回会議を福島市内で開催しました。

会議では、副会長の指名のほか、2020年に向けた復興の加速化や世界への感謝等をオールふくしまで展開していくことが確認されました。

当日は、各委員及び一般参加者約300人が参加するとともに、福島県を代表するオリンピアン千葉麻美さん(東邦銀行)や南東北総体2017の高校生活動推進委員の高校生が登壇して、東京2020大会への期待などを参加者に伝えたほか、福島県商工会議所連合会の渡邊会長からは、1964年の東京オリンピック時の聖火リレーランナーを務めた際のエピソードが語られました。

推進会議後に引き続き行われた「ふくしま大交流ミーティング」パネルディスカッションでは、パネリストを務めた内堀知事は、2020年以降に福島に残したいものとして、本県出身の世界的登山家 故田部井淳子さんを例に「挑戦する姿勢」を残し、新生ふくしまの創造を実現したいとの思いを伝えました。

また、同じくパネリストの宇津木妙子さん(元ソフトボール日本女子代表監督)からは、「ソフトボール・野球を通じて、福島はこうして頑張って復興してるんだよっていう姿を(金メダルを目指す選手達と)一緒に戦いながら見せて欲しい」という思いが伝えられました。



(推進会議の最後に世界への感謝を伝えるメッセージ横断幕を披露)



(パネルディスカッションの様子)

## 東京2020参画プログラム対象団体拡大！

(公財)東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会(以下「組織委」と言う。)が東京2020大会に向けた盛り上がり・レガシー創出に向けて取り組む参加型のプログラム「東京2020参画プログラム」の対象団体がこの7月より拡大。

この対象団体拡大により、これまで対象外であった市町村、自治会・町内会、商店街、国内競技団体、各種学校機関、商工会議所、商工会などの団体が実施する非営利的なイベント等が、応援マークを使用し、機運醸成のための取組を展開できるようになりました。



応援マーク

なお、応援プログラムの認証を受けるためには、事業内容が組織委の設定するテーマに該当し、非営利等であることなどの各種条件審査を受ける必要があるため、詳しくは、こちらにアクセス <https://participation.tokyo2020.jp/jp/> または「東京2020参画プログラム」で検索。

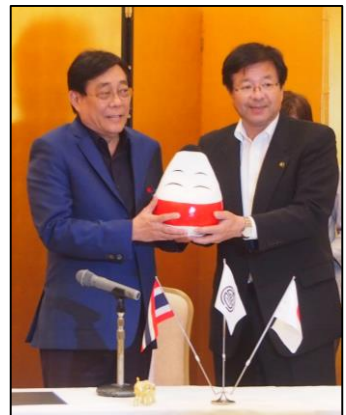
[会津若松市：ホストタウン事業]

## 会津若松市、タイ王国ボクシング協会と事前キャンプ覚書締結！

8月7日(月)会津若松市は、タイ王国ボクシング協会との間で2020年東京オリンピックのボクシングタイ代表チームの事前キャンプ実施に向けた覚書を締結しました。

タイ王国のボクシング競技はオリンピック各大会で選手の出場実績があるほか、過去には金メダリストも輩出しています。

会津若松市は、内閣官房が認証している東京2020大会の同国ホストタウンの1つにもなっており、今後、相互の交流を密にしながら2020年の事前キャンプに向けて取り組んでいきます。なお、県内自治体では、いわき市とサモア独立国のラグビー競技の事前合宿覚書に続くものとなりました。



(市内での締結の様子。右：室井市長 左：ピチャイ会長)

## 2017ジャパンパラ陸上競技大会 9/23(土)・24(日)とうほうみんなのスタジアムで開催！

→同日会場外にて『ふくしまスポーツフェスティバル2017』も開催

障がい者陸上競技の国内最高峰の大会である『ジャパンパラ陸上競技大会』が福島県にやってきます。2020年東京パラリンピック出場を狙う国内トップアスリート達の白熱した競技を目にする絶好の機会を見逃すな！なお、県内を代表するトップアスリートたちも多数参加予定、オールふくしまで応援しよう。

また、同日会場外において、「ふくしまスポーツフェスティバル2017」を開催！日ごろ体験出来ないカヌーやボルダリング、障がい者スポーツなどを体験できるブースのほか、為末大さん(元陸上選手/シドニー、アテネ、北京大会出場)、宮本和知さん(元読売巨人軍/ロス大会・野球金メダル)、大林素子さん(ソウル、バルセロナ、アトランタ大会出場)など多数のオリンピアン・パラリンピアン等をゲストに迎えたトークショーや福島文化を発信するステージ、県内の魅力ある食文化を集めたグルメブースなど盛りだくさん！スポーツの秋！食の秋！是非ご家族でジャパンパラ陸上とともに楽しみてください。詳しくは、「ジャパンパラ競技大会」で検索。

(佐藤智美選手：東邦銀行所属)

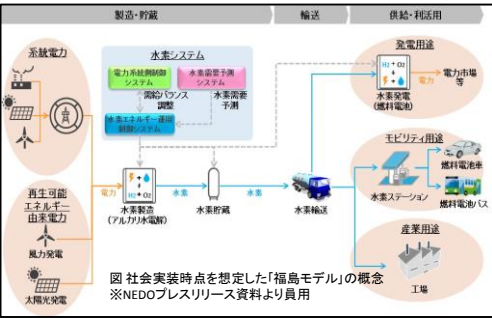


(左：庭瀬ひかり選手 県障がい者陸協所属)

## 東京2020大会での供給に向け世界最大規模の「水素製造拠点」整備へ！

8月1日(火)NEDO(国立研究開発法人 新エネルギー・産業技術総合開発機構)は、再生可能エネルギーから得た電力を用いて水素を製造、利用する本格的な実証試験研究場所に浪江町(棚塩地区)を決定しました。

今後、水素活用事業モデル及び水素販売モデルの確立を目指し、2020年度中に実証試験が行われる予定で、東京2020大会開催時における東京での活用が期待されています。



## 福島県オリンピック・パラリンピック教育推進事業が始動！

8月17日(木)、本年度スポーツ庁から県が委託を受け福島市内で展開する「オリンピック・パラリンピック教育推進事業」の一環である地域セミナーを福島テルサ(福島市)で開催しました。当日は、福島市内のオリンピック・パラリンピック教育推進校10校(小学校6校、中学校3校、特別支援学校1校)の関係者のほか、日本財団パラリンピックサポートセンター講師やオリンピック・パラリンピック教育全国中核拠点3大学の1つである筑波大学の有識者などが出席し、2学期より推進校単位で本格的に開始する事業内容に係る有意義な議論が行われました。

(写真：地域セミナーの様子 講師の話に耳を傾ける参加者)



[[公社]郡山青年会議所主催・福島県、郡山市ほか後援]  
**9月18日(月)開催**  
**「こおりやまユニバーサルフェスティバル2017」**

郡山市がホストタウン認証されているオランダを始めとした様々な国々の文化が体験できるブースや飲食ブース、その他、ステージでは様々なダンスパフォーマンスや合唱等音楽ライブが楽しめる贅沢なフェスティバルが開催されます。食欲の秋、芸術の秋、楽しみながら異文化を体験してみてください！

- ◆日時 9月18日(日)10:00~16:00
- ◆入場料 無料
- ◆場所 郡山カルチャーパーク第4駐車場
- ◆お問合せ (公社)郡山青年会議所(TEL024-932-2289)

[[国見町主催・東京2020応援プログラム]  
**9月20日(水)開催「中畑清 講演会in国見」**

2004年アテネオリンピック野球日本代表ヘッドコーチ、監督代行を務め、銅メダル獲得に導くと共に、プロ野球横浜DeNAベイスターズの監督を務めた本県矢吹町出身の中畑清氏の講演会が、東京2020応援プログラムとして国見町で開催されます。中畑氏の熱い講演で2020年野球・ソフトボール競技開催への機運を高めよう！

- ◆日時 9月20日(水)18:30開始(18:00入場)
- ◆入場料 無料(全席自由)※要入場整理券
- ◆場所/ 国見町観月台文化センターホール
- ◆お問合せ (TEL 024-585-2676)

## 終了した主なイベント等(御協力ありがとうございました)

[[北塩原村・猪苗代町]

### トライアスロン競技女子日本代表U23強化合宿(2017福島)

2020年東京オリンピックに向けて強化を進めるトライアスロン競技のU23女子日本代表が、8月23日~27日の期間、北塩原村の検原湖周遊道やスポーツパーク検原湖、猪苗代町の猪苗代湖天神浜湖水浴場等を練習会場として強化合宿が行われました。

今回の合宿は9月14日~17日に行われるITU世界トライアスロングランドファイナル(ロツェルダム)に向けて実施されたもので、2020年大会出場が期待される9名の選手が参加。北塩原村では、村を挙げて合宿の支援を実施し、今後の継続的合宿に繋がりたいと考えています。

(左:歓迎セレモニーで挨拶する福岡選手 右:ロードバイクとランの練習風景)



[[喜多方市]

### 2016リオデジャネイロ・パラリンピック ポート競技 出場報告会

8月5日(土)、リオ・パラリンピック日本代表であった駒崎茂選手等を迎え、そでやま夢交流館(喜多方市)で大会報告会が開催されました。

同選手を含む日本代表は、昨年8月、国内最終合宿を喜多方市高郷地区にある県営荻野漕艇場で実施し、この際多くの地元の人々の支援を受け、交流したことがきっかけとなり、今年、第10回となる喜多方シティレガッタに併せて報告会が実現しました。

(左:報告する駒崎選手 右:耳を傾ける来場者)



[[東京都主催・東北6県後援・東京2020公認プログラム]

### 未来(あした)への道 1000km縦断リレー

東日本大震災後の2013年より被災地を勇気付けることを目的に開始された青森から東京までを結ぶ「未来(あした)への道 1000km縦断リレー」。

5回目を迎える本年より、東京2020大会公認プログラムとして開催され、7月31日~8月4日に渡り、一般公募により当選した多くのランナーやオリンピック・パラリンピアン等が県内各地を駆け抜け、2020年に向け復興が進む、本県に元気を届けてくれました。

(県庁をスタートするオリンピック・パラリンピアン等と一般ランナー)



[[東京2020オフィシャルパートナー-東京海上日動火災保険(株)主催]

### ふくしまマルシェ2017~復興・創生~

7月28日(金)東京海上日動火災保険(株)の都内本社において、東京2020大会野球・ソフトボール競技開催決定を記念した「ふくしまマルシェ2017」が開催されました。

当日は、オープニングセレモニーのほか、県産品の物販や野球・ソフトボール開催等オリンピック・パラリンピック関連のブースが設けられ、ふくしまのPRが行われました。

(左:東邦銀行 北村頭取 中央:内堀知事 右:東京海上日動 北沢社長)



[[いわき市主催・ホストタウン事業]

### サモア独立国との文化交流事業を実施

8月15日~21日の日程で、県立平商業高校の茶道部、華道部の生徒5人がホストタウン交流の一環としてサモア独立国を訪問しました。

滞在中、中高等学校での文化交流や事前合宿の覚書を締結している同国ラグビー協会との意見交換を実施したほか、2009年に発生したサモア沖地震による津波被災地視察等を行いました。

(交流する生徒たち)



[[いわき市・東京2020応援プログラム]

### いわき回転櫓(やぐら)盆踊り大会

8月14日(月)今年で63回目を迎える「いわき回転櫓盆踊り大会」が東京2020応援プログラムの認証を受けて開催されました。夏祭りに対する認証は、期間限定で行っているもので、当日は、オリンピックの伊藤華英さん(競泳/北京、ロンドン大会出場)始め東京2020大会組織委員会のスタッフが地域住民と一緒に、「東京五輪音頭-2020-」を踊り、祭りを盛り上げました。



[[東北6県・新潟・熊本・大分県共催]

### 「仙台JAPAN市 東北九州復興編」

8月7日~8日、七夕で賑わう仙台市中心部において、東北経済連合会とオリンピック・パラリンピック等経済界協議会が主催する「仙台JAPAN市東北九州復興編」が開催されました。

福島での東京2020大会野球・ソフトボール競技開催PRのほか、旬の朝採り桃や本県の誇る地酒を販売し、多くの来場者で賑わいました。10月は福岡、11月は都内での開催が予定されています。



[[福島市、東京オリパラ福島市推進協議会主催]

### アルプスの少女ハイジとスイス展

7月30日~8月8日の期間、こむこむ(福島市)において開催された同展は、スイス大使館、スイス政府観光局後援のもと、同国のホストタウンとなっている福島市が中心となり、東京2020大会に向けた交流の一環として開催されました。期間中、多くの来場者で賑わいました。

[[福島県主催・いわき市ほか共催・東京2020公認プログラム]

### 私たちの2020年 ~未来を担う子どもたちが語る夢・希望~

7月24日(月)いわきPITにおいて、東京2020大会3年前記念イベント「私たちの2020年~未来を担う子どもたちが語る夢・希望~」が開催されました。当日は市内及び双葉郡の中学生とオリンピック、パラリンピアン等によるパネルディスカッションが行われ、2020年に向けたそれぞれの夢・希望を語りました。

[[東京2020オフィシャルパートナー-JAL主催 福島県・いわき市ほか後援]

### スポーツ能力測定会 in いわき

8月27日(日)いわき明星大学体育館を会場に開催された同イベントは、東京2020大会に向け、子どもたちが自身の可能性に気づく、挑戦する夢を育む「JAL 初体験!」の一環として開催されました。当日はゲストアスリートの元メジャーリーガー岡島秀樹さんがデモンストレーション等を行い、盛り上げました。



(準備運動する子どもたち)

## ウェブサイト「ふくしまプラス2020」への掲載の御案内

福島県では、平成29年3月に東京2020大会に向けた県内外の各種情報を発信するためのポータルサイト「ふくしまプラス2020」を開設しています。

皆様の東京2020大会に向けたイベントや取組で掲載を希望されるものがあれば、御相談ください。(サイトURL : <https://www.fuku-plus2020.jp/> 担当:スポーツ課 田部 ☎024-521-7312)

[[発行日] 平成29年8月31日 発行

[[発行者] 東京2020オリンピック・パラリンピック復興

ふくしま推進会議事務局(県スポーツ課内)

[[お問合せ] fuku2020@pref.fukushima.lg.jp